

6	高体連全道壮行式。応援団再建 <sup>(122)</sup> 函館大洋倶楽部から、硬式野球部にバッテリーングマシン寄贈 <sup>(122)</sup> 観劇会、東京演劇アンサンブル「走れメロス」(体育館) <sup>(122)</sup> 校舎改築第七期工事(格技室)着工 <sup>(122)</sup> 軟式野球部、高校軟式野球大会地区予選決勝で函工を破り、部発足十一年目で初の全道大会へ <sup>(122)</sup> 一年目で初の全道大会へ <sup>(122)</sup> 伍友会(東高五回生)、体育館の校歌掲額贈呈式 <sup>(122)</sup> 第三十六回青雲祭、テーマ「無意識の意識―見つめよう自分―」。この年より、前夜祭にPTA父母による冷茶サービス始まる <sup>(122)</sup> 生徒会役員選挙、新生徒会長に吉川陽行(二年) 新校舎第七期分Ⅱ格技室完成 <sup>(122)</sup> 全校集会で中央署講師による講演「交通安全について」 第三代校長盛山兵護先生逝去 新校舎落成記念式典(体育館)と祝賀会(市民会館) 十日、理科日野昭夫先生逝去。十二日告別式の日、全職員・生徒整理して前庭で見送り <sup>(123)</sup> 東高八回生故川上隆氏遺族より、図書及び吹奏楽用楽器の寄贈 <sup>(123)</sup> ときわ通り(美術館通り)の舗装完了 <sup>(123)</sup>	国家秘密法 日航ボーイングジャンボ機墜落事故
12	昭和六十一(一九八六)年度 服装に関する規定の一部変更Ⅱショートパンツの着用を認める。服装に関する全体集会開き指導 <sup>(123)</sup> 十三日数学科山本育雄先生急逝。十六日告別式の日、全職員・生徒整理して前庭で見送り <sup>(123)</sup> アラスカ・ジュノー市の高校生来校、授業参加等で交流 <sup>(123)</sup> 硬式野球部、高校野球全道大会出場。全校でテレビ応援 <sup>(123)</sup> 第三十七回青雲祭、テーマ「あるべき姿を求めて」。全体討論会は「校風について」、行燈行列は雨天のため順延実施 <sup>(123)</sup> 生徒会役員選挙、新生徒会長に杉本敦(二年) <sup>(123)</sup> 高校入試(普通科)全員面接について、六十三年度入試より導入することを決定 美術科梅谷利治先生の「創作干支風十二年・油絵小品展」を丸井デパ	内閣制度百周年 プロ野球選手 の労働組合
10		
9		
8		
7		
6		

7	昭和六十三(一九八八)年度 服装(ショートパンツ、ミニスカート)について指導強化 観劇会、東京芸術座「十二人の怒れる男たち」(市民会館) <sup>(127)</sup> 高体連全道大会、陸上部女子砲丸投げ中川真記(三年)優勝、金谷志織(二年)準優勝。全国大会(神戸)へ <sup>(127)</sup> 第三十九回青雲祭、テーマ「今こそ胸に青雲魂」。講演は坂本幸四郎氏「洞爺丸はなぜ沈んだか」。この年から、行燈製作場所を体育館に集約 <sup>(127)</sup>	東京ドーム 瀬戸大橋開通 リクルート事 件 なだしお号事 件
6		
5		
4	昭和六十二(一九八七)年度 北海道湧別高等学校校長佐々木和夫先生、本校校長(十代目)に着任 <sup>(125)</sup> 第四代校長石黒信太郎先生逝去 昭和六十二年度全国高校総体推進大集会(千代台競技場)、全校生徒が参加 <sup>(125)</sup> 老朽化のため、夏休み中のプール開放の中止を決定 全道高校水泳大会当番校 第三十八回青雲祭、テーマ「没個性派の反乱。ウルトラクイズ、オリエンテーリング始まる。行燈行列は雨天のため順延実施 <sup>(125)</sup> (この年より青雲祭は一学期末となる) 全国高校総体で自転車競技、水泳競技を応援。美化清掃作業に参加 書道部中谷和(三年)、全国高校総合文化祭(名古屋)に出品 生徒会役員選挙、会長を含め三名欠員のまま、副会長廣部公敏(一年)が実質会長の役割を果たす(六十三年改選で会長に当選する) <sup>(126)</sup> 日本損害保険協会作文で受賞した大角真子(二年)に市長賞 青雲記念館改修工事竣工式(起工は十月) <sup>(126)</sup> 青雲祭の実施時期を検討、一学期末開催を決定 <sup>(126)</sup> 新年度より入学料(三、〇〇〇→三、六〇〇円)値上げ	JR六社発足 朝日新聞支局 襲撃事件 政府買上米価 の引き下げ、 東京で水飢饉 臨教審、国旗・ 国家尊重提案 竹下内閣 青函トンネル開業
3		
2		
12		
9		
8		
7		
5		
4		
3		
2		
1		

8	放送局の作品「粉っばいの…」が、NHK杯全国高校放送コンテスト(全国大会) テレビ課題部門で準優勝 <sup>(127)</sup> 桐越講師(代々木ゼミ)による英語特別講習会(三年)の実施、以後毎年の行事として恒例化 全道高校上し研究会当番校	青函博覧会
9	生徒会役員選挙、新生徒会長に廣部公敏(二年) <sup>(126)</sup> 予餞会、青春座は第二十回公演で演目は「白鳥の湖」 <sup>(128)</sup>	ソウルオリンピック 昭和天皇崩御 米フシユ大統領 吉野ヶ里遺跡
3	新年度より、授業料値上げ(六、九〇〇円↓七、四〇〇円) 佐々木和夫校長、北海道室蘭栄高等学校長として転出 <sup>(129)</sup>	
<b>平成元(一九八九)年度</b>		
4	北海道札幌啓成高等学校教頭三沢誠一郎先生、本校校長(十一代目)に着任 <sup>(129)</sup> 生徒総会、一般質問で教科書放置問題提起 理科桜井仁先生、東京農大一九八九ナング・バルバット(パキスタン)登頂隊員として参加 トレーニング室完成(着工四月) <sup>(129)</sup> 東高九回生大橋弘子氏より絵画寄贈、正面玄関ロビーに掲示 全道高校軟式野球選手権大会当番校(千代台球場)。 第四十回青雲祭、テーマ“Burning Heart”ちからのすべてをー <sup>(129)</sup>	消費税(三%)導入 天安門事件 美空ひばり死去 宇野内閣 参議院選挙与野党逆転 海部内閣 東欧民主化運動
9	全道理科指導研究会当番校 生徒会役員選挙、新生徒会長に大林世栄樹(二年)	
10	全道高校放送・視聴覚教育研究会会場	
12	東高七回生・十五回生よりトレーニング機器の寄贈	
1	交換留学生(ニュージーランド)来校、授業に参加	センター試験
2	創立五十周年記念賛歌歌詞の募集	木島長崎市長狙撃 ベルリンの壁撤去 ロシア・ゴルバチョフ大統領
3	予餞会、青春座の中で、東高一回生寄贈の太鼓を四人で演奏 第四十回卒業式、卒業生の記念品として教室に掛時計 <sup>(130)</sup>	
<b>平成二(一九九〇)年度</b>		
4	対面式、昨年の反省に立ってアメ玉を禁止し、紙吹雪は許可	

6	国語科森武先生による文学散歩「浜蕃微紀行」 <sup>(131)</sup> 山岳部中心の校内登山会(駒ヶ岳) <sup>(131)</sup> 五十周年記念賛歌歌詞に奥山悦子(三年)の作品「輝きの中へ」選ばれる 第四十一回青雲祭、テーマ“新たな自由と伝統を求めて”。行燈行列に職員行燈(弘前ねぶた)が特別参加。アトラクションに“祝創立五十周年”の仕掛花火。本祭の全体行事は、早稲田大学教授田辺洋二氏(東高一回生)の講演「英語を学ぶ楽しさ」 <sup>(130)</sup> 、 <sup>(131)</sup>	神戸宝塚高校で女生徒圧死
7	美術部佐々木匡(三年)の作品、全国高文連祭へ 来年度より授業料・諸会費納入の電算処理(口座振替)方式導入	柏崎原発2号機 イラク、クウェート制圧
8	全道高校新聞コンクールで「青雲時報一三二号」、企画取材賞、六面構成で「五十周年」と「日の丸・君が代」の二本立て特集等が評価 <sup>(131)</sup> 札幌予備学院講師による特別講習	
9	生徒会役員選挙、新生徒会長に細井護(二年) 創立五十周年記念講演会、北海道新聞編集局長作田和幸氏(東高一回生)「史眼の必要な時代」。市中ラグビー部OBからの全国優勝盾(レプリカ)贈呈(市民会館)。午後、卒業生を対象に学校見学会 創立五十周年記念式典挙行。三部構成で、第一部「オープニングでは「音と映像でたどる五十周年」が中心、第二部「セレモニーでは式辞・挨拶・祝辞に続き功労者へ表彰状贈呈、第三部「エンディングでは、ステージに登場した一年生全員と二年生音楽選択者が吹奏楽部の演奏で記念賛歌を合唱。その後「祝ヒガシ50」の人文字を演出。最後に参加者全員で校歌を斉唱し、感動の中に閉幕(市民会館)」 <sup>(130)</sup> 、 <sup>(131)</sup>	東西両ドイツ統一 ゴルバチョフノーベル平和賞
10	「音と映像でたどる五十周年」が中心、第二部「セレモニーでは式辞・挨拶・祝辞に続き功労者へ表彰状贈呈、第三部「エンディングでは、ステージに登場した一年生全員と二年生音楽選択者が吹奏楽部の演奏で記念賛歌を合唱。その後「祝ヒガシ50」の人文字を演出。最後に参加者全員で校歌を斉唱し、感動の中に閉幕(市民会館)」 <sup>(130)</sup> 、 <sup>(131)</sup>	
11	記念賛歌保存のための収録(青雲記念館)	天皇即位の礼 雲仙普賢岳噴火 湾岸戦争
3	第四十一回卒業式、クラス代表によるパフォーマンス少なくなる <sup>(132)</sup> 三沢誠一郎校長、北海道函館西高等学校長として転出 <sup>(133)</sup>	
<b>平成三(一九九一)年度</b>		
4	北海道天売高等学校校長藤枝正道先生、本校校長(十二代目)に着任 <sup>(133)</sup> 高体連支部総会、高野連支部総会を事務局校として開催	雲仙普賢岳で大火砕流

6	音楽部、リコーダーコンサート開催（青雲記念館） <sup>(133)</sup>	ロシア・エリツイン大統領
7	第四十二回青雲祭、テーマ「燃える東魂」。行燈行列のコース短縮、全休行事としての討論会、青雲グッズの販売など新しい動き <sup>(133)</sup>	
8	弓道部（女子）、陸上部、放送局が全国大会へ <sup>(133)</sup>	韓国・北朝鮮 国連加盟
9	生徒会役員選挙、新生徒会長に浅沼真（二年）	宮沢内閣
1	新聞局、第三十五回全道高校新聞研究大会に参加（函館市民会館 体育館 <sup>(133)</sup> ） 大型台風十九号渡島半島襲来のため臨時休校となる 十七日、体育科本間武秀先生急逝。翌日、全職員・生徒整理して前庭で見送り <sup>(134)</sup>	欧州連合（EU）発足、ソ連邦消滅
2	予餞会、青春座演目「ああ青春・夕陽が丘の南高く白鳥の湖編く」 <sup>(134)</sup>	
3	校史『五十年誌』を刊行 新年度より入学科（三、六〇〇円↓四、六〇〇円）、授業料（七、四〇〇円↓八、二〇〇円）値上げ	
4	平成四（一九九二）年度 入学式、新一年生より普通科一学級の定員四十人となる	
6	放送局、NHK杯高校放送コンテスト道南地区大会で総合優勝（十年連続）。全道大会でも、アナウンス部門で長田優子（三年）、朗読部門で佐藤倫子（三年）が入賞。全国大会へ	PKO協立法
7	高体連全道大会、男子やり投げで渡部堅（二年）が優勝。全国大会へ <sup>(135)</sup> 第四十三回青雲祭、テーマ「Passion（情熱）」。全休行事は先生方による講演会 <sup>(135)</sup> 第三十五回北海道理科研究大会当番校	バルセロナオリンピック
9	生徒会役員選挙、新生徒会長に古田泰久（二年） 学校五日制による休日。月一回（第二土曜日）を休みとする週五日制がスタート <sup>(135)</sup>	日本人初の宇宙飛行士・毛利衛
12	校舎前道路（松見通り）の舗装工事始まる <sup>(135)</sup> 、 <sup>(136)</sup>	
1	野球場バックネット改修、防球ネット新設工事 予餞会、青春座演目「昨日、悲別で・・・」 <sup>(136)</sup> 第四十三回卒業式（この年以降三月一日となる）	米クリントン大統領
3	正門門柱を第一グラウンド北側の通路入口に移設 <sup>(136)</sup> 藤枝正道校長、北海道教育庁教育部指導参事として転出	

4	平成五（一九九三）年度 北海道奥尻高等学校校長福地順一先生、本校校長（十三代目）に着任	Jリーグ発足
5	マンガ研究同好会、日本ユネスコ協会に協力して『ユネスコまんが読本』を作成し、「ユネスコ露木賞」を受賞 <sup>(137)</sup>	皇太子・雅子様ご成婚
6	放送局、全道高校放送研究大会（小樽市）でNHK杯総合賞一位を受賞。全国大会へ <sup>(137)</sup>	
7	高体連全道大会、弓道部男子団体戦で優勝。全国大会（栃木県）へ 陸上部、渡部堅（三年）が男子やり投げで二年連続優勝。全国大会 北海道南西沖地震発生、本校生徒の被害者は五名。地震被害者への義援金・メッセージを受け付け <sup>(137)</sup> 硬式野球部、夏の高校野球地区予選でブロック優勝し、全道大会へ（三年ぶり十回目）。（九月の秋季大会も優勝、全道大会へ） 第四十四回青雲祭、テーマ「Keep on moving くだまっつられない」 <sup>(137)</sup>	北海道南西沖地震
9	生徒会役員選挙、新生徒会長に高田大輔（二年）	細川内閣
10	安達真一（三年）の小説「アホドリ共存戦争」が、第三回函館市青少年芸術教育奨励賞文学部門で金賞を受賞 <sup>(138)</sup>	冷夏で戦後最悪の米凶作
11	E S S 部 松浦寛乃（三年）、英語弁論大会地区大会で二位。全道大会へ <sup>(138)</sup>	リレハンメル冬季オリンピック
1	予餞会、青春座演目「ウェストサイドストーリー」 <sup>(138)</sup>	
3	新年度より入学科値上げ（四、六〇〇円↓五、二〇〇円）	
4	平成六（一九九四）年度 始業式、本年度より土曜日は三時限授業となる	羽田内閣
5	本校舎とひんがし会館の間（松見通り）に、横断歩道と押しボタン式信号機が完成、作動開始 <sup>(139)</sup>	
6	高体連・高文連全道大会に、運動部六部と放送局、合わせて百二十人が出場し健闘 <sup>(139)</sup> 陸上部……男子二種目・女子三種目で十三人全国へ 放送局……NHK総合賞二位。五部門が全国へ サッカー部……全道三位	松本サリン事件 村山内閣